

第4章 取組方針

1. 取組の体系

まちづくり戦略を進める上で必要となる具体的な取組方針を以下に整理します。

図表58 取組方針

まちづくりの 目標	まちづくり戦略	取組方針
目標① 心地よい時を過ごすことができ、武豊の『玄関口』※6となるワクワクするまち	戦略① 多くの人が集まる駅周辺のにぎわいを創出するまちづくり	<取組方針①-1> ・機能性が高いシンボリックな駅前空間の形成 <取組方針①-2> ・人が集い、にぎわい創出に資する都市機能の立地誘導
	戦略② 町民への公共サービスが充実するまちづくり	<取組方針②-1> ・様々な世代・目的の人が集い触れ合うことで豊かな交流が育まれる公共交流拠点※2の形成 <取組方針②-2> ・公共交通サービスの充実 <取組方針②-3> ・公共施設が集積する地域を学習交流拠点※3として維持・活用
目標② 様々な人がまちの魅力を感じながら、快適に、楽しく暮らせるまち	戦略③ 通勤・通学や買物が便利で、良好な住環境で暮らせるまちづくり	<取組方針③-1> ・新たな住宅地の形成 <取組方針③-2> ・円滑な自動車交通循環を図る基盤施設整備 <取組方針③-3> ・新たな移動手段の導入
	戦略④ 歩いて武豊の魅力を体感できるまちづくり	<取組方針④-1> ・歩きたくなる魅力的な空間づくり <取組方針④-2> ・安全で快適に移動できる歩行空間の形成
目標③ 持続可能な未来に向けて武豊を先導する新しいチャレンジをしていくまち	戦略⑤ 新しいことにチャレンジするまちづくり	<取組方針⑤-1> ・エコ拠点※24・エコタウン※25の形成 <取組方針⑤-2> ・環境にやさしい移動手段の導入
	戦略⑥ 災害に強いまちづくり	<取組方針⑥-1> ・防災拠点の形成 <取組方針⑥-2> ・避難場所・避難経路の確保

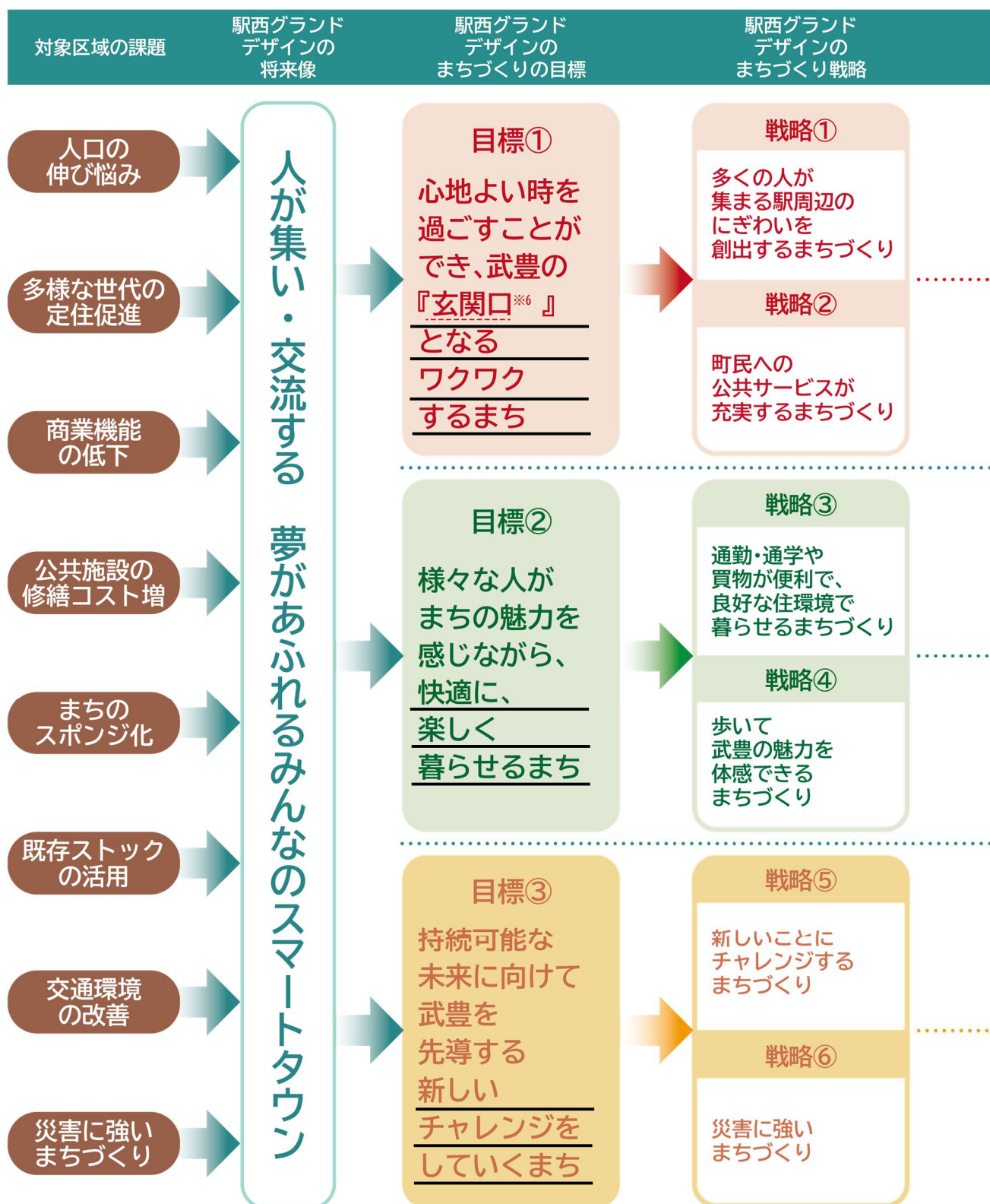
用語解説

※2 公共交流拠点：1頁参照 ※3 学習交流拠点：3頁参照 ※6 玄関口：8頁参照

※24 エコ拠点：温室効果ガスの排出削減に向けた取組（例、蓄電池や電気自動車の普及啓発等）を先進的に行っていく拠点です。

※25 エコタウン：温室効果ガスの排出削減に向けた取組を先進的に行っていく住宅地等の市街地です。（例、スマートLED街灯）

図表 59 駅西グランドデザインの体系



用語解説

※2 公共交流拠点：1 頁参照

※3 学習交流拠点：3 頁参照

※6 玄関口：8 頁参照

※24 エコ拠点：58 頁参照

※25 エコタウン：58 頁参照

取組方針

関連する
SDGsの目標

①-1 機能性が高いシンボリックな駅前空間の形成

①-2 人が集い、にぎわい創出に資する都市機能の立地誘導

②-1 様々な世代・目的の人が集い触れ合うことで豊かな交流が育まれる公共交流拠点※2の形成

②-2 公共交通サービスの充実

②-3 公共施設が集積する地域を学習交流拠点※3として維持・活用



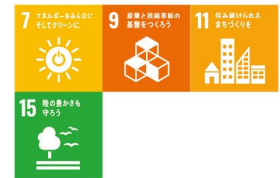
③-1 新たな住宅地の形成

③-2 円滑な自動車交通循環を図る基盤施設整備

③-3 新たな移動手段の導入

④-1 歩きたくなる魅力的な空間づくり

④-2 安全で快適に移動できる歩行空間の形成



⑤-1 エコ拠点※24・エコタウン※25の形成

⑤-2 環境にやさしい移動手段の導入

⑥-1 防災拠点の形成

⑥-2 避難場所・避難経路の確保



図表 60 取組方針とまちづくり構想図との関係

取組方針		まちづくり構想図						
		①駅前居住エリア	②生活利便施設集積エリア	③にぎわい創出エリア	④緑豊かな住宅地エリア	⑤武豊中央公園(北側)	⑥公共機能集積エリア(武豊中央公園南側)	にぎわいストリート軸
①-1-a	公共空間の修景整備(美装化、無電柱化等)			○				○
①-1-b	官民が連携して機能性が高い駅前空間の形成			○				
①-1-c	公共空間や民有空間の緑化促進			○				○
①-2-a	交流、子育て支援機能の立地誘導、地域でマネジメントする仕組づくり			○				
①-2-b	駅前のにぎわい創出に資する都市機能の立地誘導		○	○				○
①-2-c	沿道建物の共同化を促進、憩いやにぎわいの空間づくり		○	○				○
①-2-d	空き家や空き店舗、空き地等の有効活用、試行的実験の実施		○	○				○
①-2-e	既存ストックの有効活用(宅地化)に向け地権者意識の啓発	○	○	○				○
②-1-a	公共施設の移転及び集約化・複合化						○	
②-1-b	豊かな交流が育まれる施設整備						○	
②-1-c	将来の公共施設の受け皿として支障が生じないような暫定利用						○	
②-2-a	コミュニティバスのルートやダイヤの見直し、公共交通結節機能の強化・充実			○			○	
②-2-b	駐車場・駐輪場の適正な配置及び整備		○	○				
②-3-a	中央公民館等の将来の移転の検討と引き続きの維持・活用				○			
②-3-b	保健センターの住民サービス向上に向けた移転				○			
③-1-a	自然を感じることができる新たな住宅地の形成				○			
③-1-b	民有地再編を契機とした住宅供給、民間活用による共同住宅の立地誘導			○				
③-1-c	(都)武豊港線の拡幅にあわせた中高層階への住宅導入の働きかけ		○	○				○
③-1-d	既存ストックの有効活用に向けた地権者意識の啓発	○	○	○				○
③-2-a	安全で便利に駅にアクセスすることが可能となる基盤施設整備			○				
③-2-b	J R武豊駅前広場の新設整備		○	○				○
③-3-a	公共交通の利用促進、環境に優しい小型モビリティや燃料電池車両等の導入	○	○	○	○	○	○	○
④-1-a	道路のコミュニティ道路化や修景整備、案内板の設置による散歩道づくり	○	○	○	○	○	○	○
④-2-a	低未利用地の有効活用や歩道にベンチを設置する等による滞在空間の確保	○	○	○	○	○	○	○
④-2-b	通過交通の速度抑制を図るための安全対策	○	○		○			
④-2-c	沿道建物の共同化を促進、憩いやにぎわいの空間づくり		○	○				○
⑤-1-a	クリーンエネルギーによる発電、緑化促進			○			○	
⑤-1-b	緑豊かで環境に配慮した住宅形成の促進				○			
⑤-1-c	緑化や景観に関するルールづくり	○			○			
⑤-2-a	公共交通の利用促進、環境に優しい小型モビリティや燃料電池車両等の導入	○	○	○	○	○	○	○
⑥-1-a	武豊中央公園や消防署と一体となった防災安全性を高める施設の設置					○	○	
⑥-2-a	避難場所の確保や地域住民と協力した適切な維持管理、避難経路の確保	○	○	○	○	○	○	○

2. 取組方針の整理

取組の体系で示した個別の取組方針について以下に整理します。

まちづくりの目標① 心地よい時を過ごすことができ、武豊の『玄関口※6』となるワクワクするまち

戦略① 多くの人が集まる駅周辺のにぎわいを創出するまちづくり

- ・対象区域は名鉄知多武豊駅やJR武豊駅が立地し、町内外から多くの人が集まるため、まちの『玄関口』※6となる魅力的な市街地の形成を図ります。
- ・多くの人が集まるポテンシャルの高さを活かして、駅周辺で長く過ごしてもらうことで、にぎわいの創出を図ります。

取組方針①-1 機能性が高いシンボリックな駅前空間の形成

関連 エリア	駅前居住 エリア	生活利便施設 集積エリア	にぎわい創出 エリア	緑豊かな 住宅地エリア	武豊中央公園 (北側)	公共機能集積 エリア (武豊中央公園南側)	にぎわい ストリート軸
-----------	-------------	-----------------	---------------	----------------	----------------	-----------------------------	----------------

- ① 名鉄知多武豊駅西側駅前広場の新設やアクセス道路の改善にあわせ、公共空間の修景整備（美装化、無電柱化等）を進めます。 にぎわい創出
エリア にぎわい
ストリート軸
- ② 公共空間と周辺の建物が一体感を醸成するようなトータルデザインの誘導、景観コントロールにより、官民が連携して機能性が高い駅前空間を形成します。 にぎわい創出
エリア
- ③ 緑地空間の確保を図るとともに、公共空間や民有空間の緑化を促進します。 にぎわい創出
エリア にぎわい
ストリート軸

図表 61 にぎわい創出エリアのイメージ



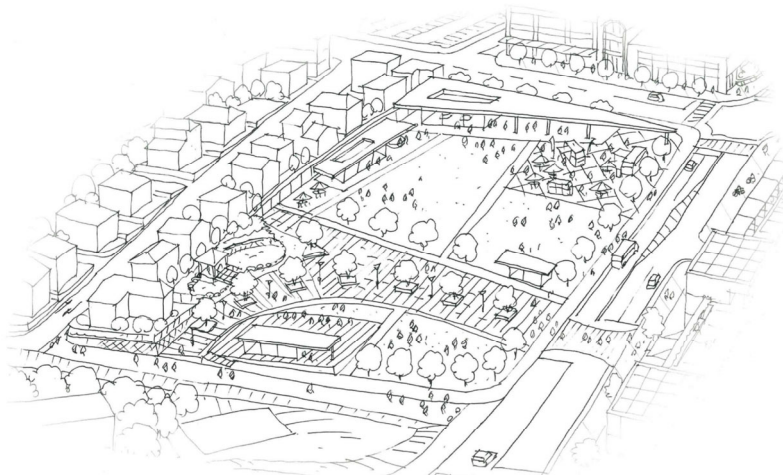
用語解説

※6 玄関口、まちの玄関口：8頁参照

取組方針①-2 人が集い、にぎわい創出に資する都市機能の立地誘導

- | | | | | | | | |
|-----------|-------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|-----------------------------|----------------|
| 関連
エリア | 駅前居住
エリア | 生活利便施設
集積エリア | にぎわい創出
エリア | 緑豊かな
住宅地エリア | 武豊中央公園
(北側) | 公共機能集積
エリア
(武豊中央公園南側) | にぎわい
ストリート軸 |
|-----------|-------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|-----------------------------|----------------|
- ①. 現在の役場用地では、庁舎移転にあわせ多様な世代が交流できる空間づくりを図り、交流機能や子育て支援に関する機能等の立地誘導を検討します。また、にぎわい創出エリアを中心にマルシェやイベント等が開催できる多目的な空間を確保するとともに、地域住民や地域活動を行う団体等で空間の使い方をマネジメントする仕組づくりを働きかけます。
- ②. 名鉄知多武豊駅西側駅前広場の新設やアクセス道路の改善にあわせ、魅力ある店舗や飲食店の立地誘導を図るとともに、医療施設等の住民生活を支える生活利便施設や、高校生を始めとする駅利用者が滞在できる施設、職住近接※26や起業を支援するコワーキングスペース※27に資する施設、観光案内スペース・アンテナショップ等の駅前のにぎわい創出に資する都市機能の立地を検討します。
- ③. (都)武豊港線の拡幅にあわせ、低層階への商業施設等を配置した沿道建物の共同化の検討や、新設される歩道では、沿道店舗等と連携して、憩いやにぎわいの空間づくりを進めます。(取組方針④-2-c 共通)
- ④. まちづくりに興味がある住民や商店主等と連携し、沿道に点在する空き家や空き店舗、空き地等の有効活用・リノベーション(再生)を図るとともに、基盤整備と連携した官民のパブリック空間を活用したプレイスメイキング※28等の試行的実験を実施します。
- e. 点在する空き地や青空駐車場等の既存ストック(今ある資源)の有効活用(宅地化)に向け地権者意識の啓発を図ります。

図表 62 にぎわい創出エリア(役場庁舎移転後)のイメージ



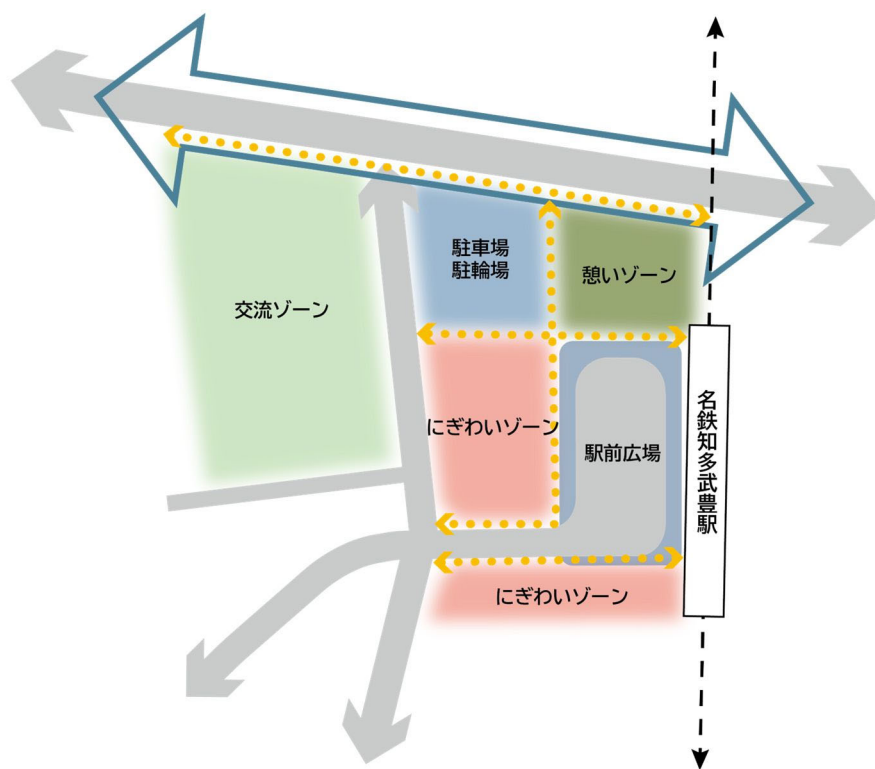
用語解説

※26 職住近接：自宅と職場の距離が近いことを意味します。通勤時間が短くなり、ゆとりある生活の実現が期待されます。

※27 コワーキングスペース：専用の個室スペースではなく共有型のオープンスペースで仕事をするスタイルのオフィススペースです。

※28 プレイスメイキング：都市の中に、単なるスペースではなく、居心地の良い場所、楽しく過ごせる場所(プレイス)をつくることや個人の精神的なよりどころとなる場をその人自身が住んでいる地域や関わりのある地域で自ら創出・再生することです。
(例. まちなかの駐車場を借り切ってイベントを開催する等)

図表 63 にぎわい創出エリアの整備イメージ



交流ゾーンのイメージ(他市町の例)

まちづくりの目標① 心地よい時を過ごすことができ、武豊の『玄関口※』となるワクワクするまち

戦略② 町民への公共サービスが充実するまちづくり

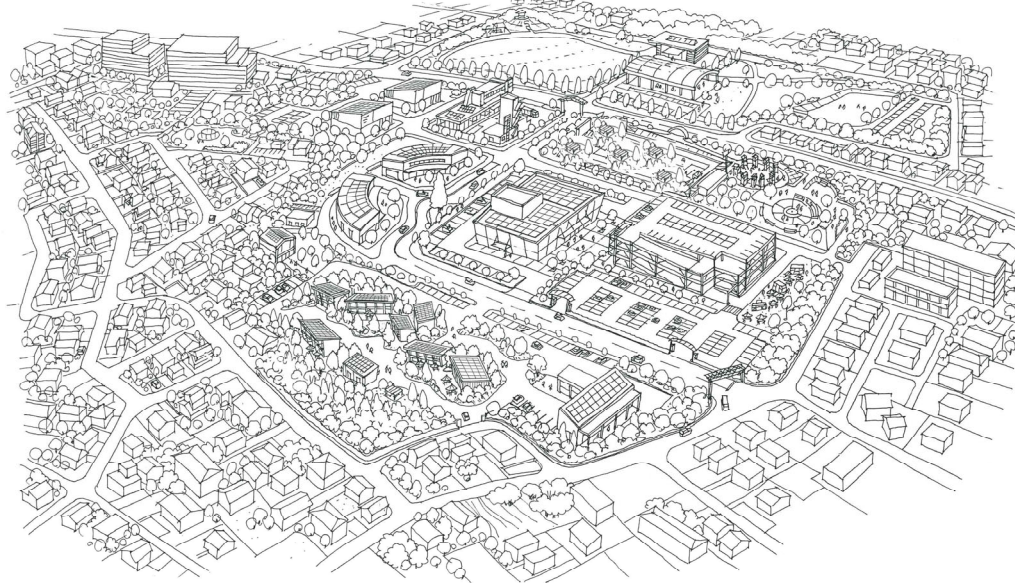
- ・ 公共施設の老朽化に伴う更新・再配置にあわせて、町全体からアクセスしやすい場所への公共機能の集積を進めます。
- ・ 住民が快適に過ごせる公共施設の配置を計画し、効率的な公共サービスを提供できる体制の整備とともに住民同士の交流の活性化を図ります。

取組方針②-1 様々な世代・目的の人が集い触れ合うことで豊かな交流が育まれる公共交流拠点※²の形成

関連 エリア	駅前居住 エリア	生活利便施設 集積エリア	にぎわい創出 エリア	緑豊かな 住宅地エリア	武豊中央公園 (北側)	公共機能集積 エリア (武豊中央公園南側)	にぎわい ストリート軸
-----------	-------------	-----------------	---------------	----------------	----------------	-----------------------------	----------------

- 役場庁舎や保健センターを始めとする公共施設の移転及び、長期的な視点で町内に点在する公共施設の集約化・複合化を進めます。公共機能集積エリア
- 公共交流拠点※²形成の検討にあたっては、単に役場へ手続きに訪れるだけでなく、様々な世代・目的の人が集い触れ合うことで豊かな交流が育まれる施設整備を図ります。例えば、子育て支援施設は、子どもだけではなく、その保護者である大人も訪れる施設であり、また、グラウンドや住民憩いの公園等は多様な世代の住民が集い・交流できることが期待されるものであり、その立地を検討します。公共機能集積エリア
- 町の特産物の“食と農”の販売促進のPRに繋がる取組や将来の公共施設の受け皿として支障が生じないような暫定利用（市場やフリーマーケットを自主的に開催できるスペース等）を進めます。公共機能集積エリア

図表 64 公共交流拠点※²の整備イメージ



用語解説

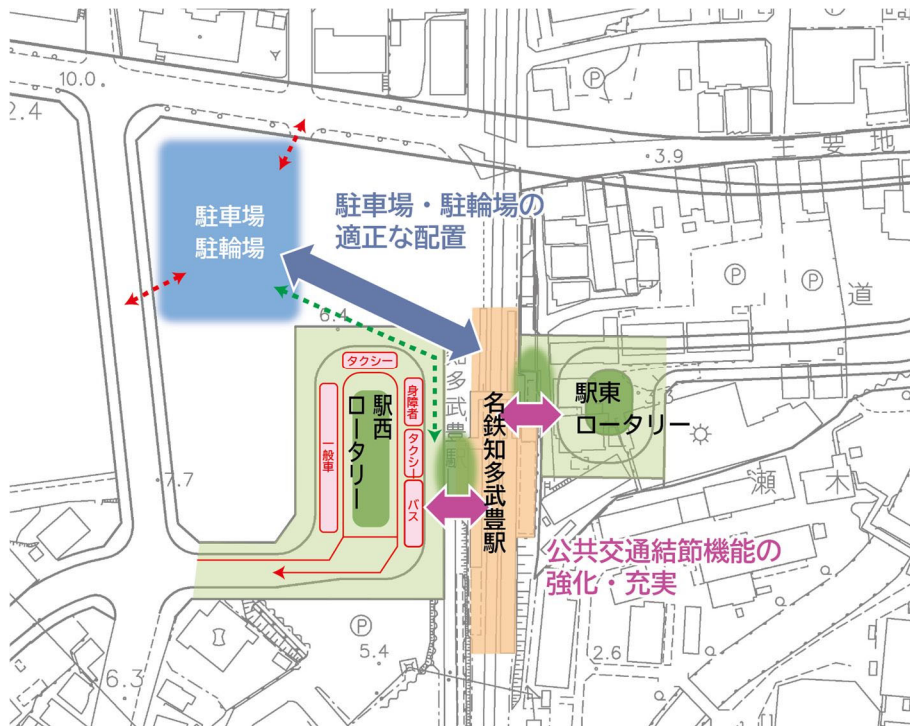
※2 公共交流拠点：1頁参照

※6 玄関口、まちの玄関口：8頁参照

取組方針②-2 公共交通サービスの充実

- | | | | | | | | |
|-----------|-------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|-----------------------------|----------------|
| 関連
エリア | 駅前居住
エリア | 生活利便施設
集積エリア | にぎわい創出
エリア | 緑豊かな
住宅地エリア | 武豊中央公園
(北側) | 公共機能集積
エリア
(武豊中央公園南側) | にぎわい
ストリート軸 |
|-----------|-------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|-----------------------------|----------------|
- ①. 公共交流拠点^{※2}の形成等にあわせ、コミュニティバスの路線やダイヤ等の見直しを検討するとともに、名鉄知多武豊駅西側駅前広場の新設にあわせ、公共交通結節機能の強化・充実（乗継利便性や停留所の安全性の向上、駅施設や歩道空間等のバリアフリー化等）を図ります。
- にぎわい創出
エリア 公共機能集積
エリア
- b. 鉄道を利用するために駅周辺に駐車・駐輪する人の利便性を向上するため、駐車場・駐輪場の適正な配置及び整備を図ります。
- 生活利便施設
集積エリア にぎわい創出
エリア

図表 65 駅前広場の整備イメージ

取組方針②-3 公共施設が集積する地域を学習交流拠点^{※3}として維持・活用

- | | | | | | | | |
|-----------|-------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|-----------------------------|----------------|
| 関連
エリア | 駅前居住
エリア | 生活利便施設
集積エリア | にぎわい創出
エリア | 緑豊かな
住宅地エリア | 武豊中央公園
(北側) | 公共機能集積
エリア
(武豊中央公園南側) | にぎわい
ストリート軸 |
|-----------|-------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|-----------------------------|----------------|
- ①. 中央公民館や図書館、歴史民俗資料館については、将来的な公共交流拠点への移転の可能性を検討しつつ学習交流拠点^{※3}において、引き続き公共施設の維持・活用を図ります。
- 緑豊かな
住宅地エリア
- b. 役場庁舎とあわせて保健センターについても、さらなる住民サービスの向上のため公共交流拠点^{※2}へ移転を図ります。
- 緑豊かな
住宅地エリア

用語解説

※2 公共交流拠点：1頁参照

※3 学習交流拠点：3頁参照

まちづくりの目標② 様々な人がまちの魅力を感じながら、快適に、楽しく暮らせるまち

戦略③ 通勤・通学や買物が便利で、良好な住環境で暮らせるまちづくり

- ・通勤、通学が便利であるとともに、買物ができる商業施設の立地する便利な環境を活かし、空き地、空き家等を有効活用した多様な世代の定住促進を図ります。
- ・対象区域内を公共交通、自家用車、徒歩、自転車等で安全で快適に移動できる環境整備を図ります。

取組方針③-1 新たな住宅地の形成

- | | | | | | | | |
|-----------|-------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|-----------------------------|----------------|
| 関連
エリア | 駅前居住
エリア | 生活利便施設
集積エリア | にぎわい創出
エリア | 緑豊かな
住宅地エリア | 武豊中央公園
(北側) | 公共機能集積
エリア
(武豊中央公園南側) | にぎわい
ストリート軸 |
|-----------|-------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|-----------------------------|----------------|
- ① 武豊中央公園北側一帯の農地が多く残るエリアでは、民間活力を最大限活用して、民間事業者等による戸建住宅を主体としつつ、地区計画等の活用により、自然を感じることができる新たな住宅地の形成を図ります。
- ② 名鉄知多武豊駅西側駅前広場の新設やアクセス道路の改善にあわせ、民有地の再編を契機とした住宅供給を促進するとともに、公共施設の移転に伴う跡地活用にあたっては、民間活用も視野にいれ共同住宅等の立地誘導等を図ります。
- c. (都)武豊港線の拡幅にあわせ、沿道建物の共同化を促進しつつ、中高層階への住宅の配置を働きかけます。
- d. 点在する空き地や青空駐車場等の既存ストック（今ある資源）の有効活用（宅地化）に向け地権者意識の啓発を進め、地区計画等の活用により、多様な世代の定住促進を図ります。

図表 66 自然を感じることのできる新たな住宅地のイメージ

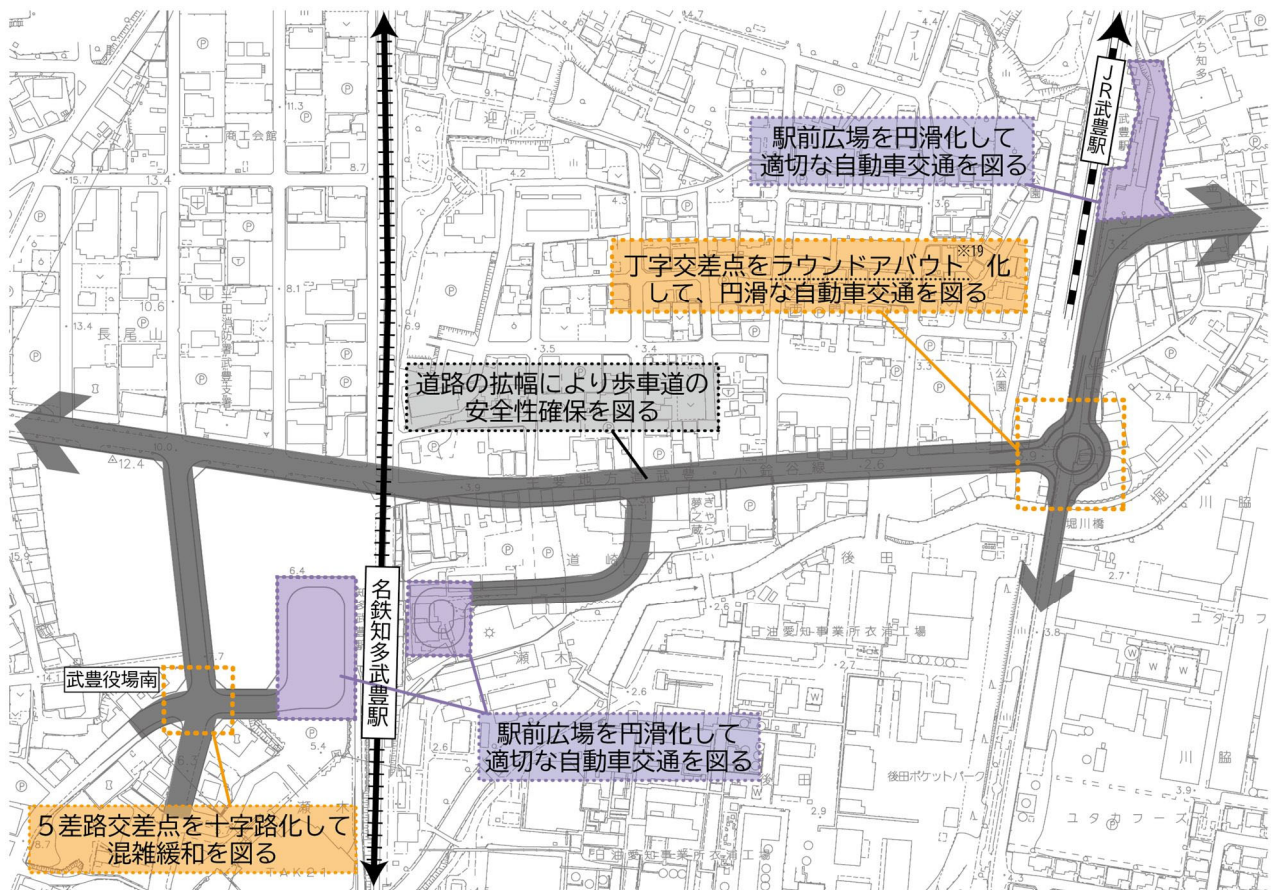


取組方針③-2 円滑な自動車交通循環を図る基盤施設整備

関連
エリア駅前居住
エリア生活利便施設
集積エリアにぎわい創出
エリア緑豊かな
住宅地エリア武豊中央公園
(北側)公共機能集積
エリア
(武豊中央公園南側)にぎわい
ストリート軸

- ①. 現在の役場庁舎南の変則交差点(5差路)を始めとする不整形な道路網、一方通行や踏切横断等
に起因する自動車交通の混雑解消を図るため、誰もが安全で便利に駅へアクセスすることが可能
となる基盤施設整備を進めます。 にぎわい創出
エリア
- ②. (都)武豊港線の拡幅整備を引き続き県に働きかけるとともに、JR武豊駅前広場の新設整備を
進めます。 生活利便施設
集積エリア にぎわい創出
エリア にぎわい
ストリート軸

図表 67 駅周辺基盤施設整備イメージ図



用語解説

※19 ラウンドアバウト：41 頁参照

取組方針③-3 新たな移動手段の導入

関連
エリア駅前居住
エリア生活利便施設
集積エリアにぎわい創出
エリア緑豊かな
住宅地エリア武豊中央公園
(北側)公共機能集積
エリア
(武豊中央公園南側)にぎわい
ストリート軸

- ①a. 傾斜地のある地形のため、移動手段が自家用車に依存しがちであることから、コミュニティバスのルート再編等による公共交通の利用促進に加え、環境に優しい次世代小型モビリティや燃料電池車両等の導入を進めます。(取組方針⑤-2-a 共通)

全エリア
共通

図表 68 次世代モビリティや多様な交通手段のイメージ



自動運転バス

『NAVYA ARMA(ナビヤ アルマ)』

- ・茨城県境町
- ・2020年運行開始
- ・乗車人数は最大11人

複数の自動運転車両の運行を遠隔地から同時に管理・監視できるBOLDLYの自動運転車両運行プラットフォーム「Dispatcher(ディスパッチャー)」を活用して、町内の医療施設や郵便局、学校、銀行等をつなぐルートで自律走行バスの運行が可能。
(資料: 境町観光協会 HP)



電動キックボードシェア

『LUUP』

- ・東京都、横浜市、大阪市、京都市で導入事例あり。

(資料: LUUP HP)

用語解説

※8 ウォーカブル：8頁参照

※29 コミュニティ道路：人と車の共存を図るため、歩行者等が安全かつ快適に通行できるよう意図的に車道を蛇行させまた、歩道においては幅を広くし、植栽やベンチ等を設けた道路です。

まちづくりの目標② 様々な人がまちの魅力を感じながら、快適に、楽しく暮らせるまち

戦略④ 歩いて武豊の魅力を体感できるまちづくり

- ・居住者や訪れた人が、イベントに参加したり、散策して魅力を体感できるような、歩いて楽しめるウォーカブル※8な空間の整備を図ります。

取組方針④-1 歩きたくなる魅力的な空間づくり

関連 エリア	駅前居住 エリア	生活利便施設 集積エリア	にぎわい創出 エリア	緑豊かな 住宅地エリア	武豊中央公園 (北側)	公共機能集積 エリア (武豊中央公園南側)	にぎわい ストリート軸
-----------	-------------	-----------------	---------------	----------------	----------------	-----------------------------	----------------

- ①. ウォーカブルなまちづくりに向けて、駅や主要施設を結ぶ歩行者軸になる道路のコミュニティ道路※29 化や修景整備（美装化、無電柱化等）、案内板の設置により、散歩道づくりを進めます。

全エリア
共通

取組方針④-2 安全で快適に移動できる歩行空間の形成

関連 エリア	駅前居住 エリア	生活利便施設 集積エリア	にぎわい創出 エリア	緑豊かな 住宅地エリア	武豊中央公園 (北側)	公共機能集積 エリア (武豊中央公園南側)	にぎわい ストリート軸
-----------	-------------	-----------------	---------------	----------------	----------------	-----------------------------	----------------

- ①. 傾斜地のある地形のため、散歩道づくりにあわせ、移動困難者が休憩したり、立ち寄ることができるよう、低未利用地の有効活用や歩道にベンチを設置する等による滞在空間の確保を図ります。

全エリア
共通

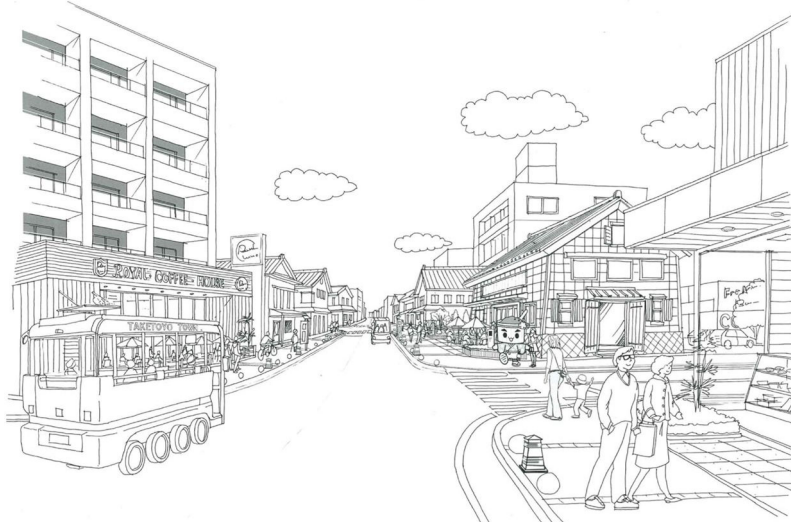
- ②. 住宅が多く立地するエリアでは、通過交通の速度抑制を図るための安全対策を進めます。

駅前居住
エリア生活利便施設
集積エリア緑豊かな
住宅地エリア

- ③. (都)武豊港線の拡幅にあわせ、低層階への商業施設等を配置した沿道建物の共同化の検討や、新設される歩道では、沿道店舗等と連携して、憩いやにぎわいの空間づくりを進めます。(取組方針①-2-c 共通)

生活利便施設
集積エリアにぎわい創出
エリアにぎわい
ストリート軸

図表 69 歩行者軸の修景整備イメージ



まちづくりの目標③ 持続可能な未来に向けて武豊を先導する新しいチャレンジをしていくまち

戦略⑤ 新しいことにチャレンジするまちづくり

- ・町の中心として、官民で連携しながら最新技術の導入の検討やカーボンニュートラル※23の実現に向けた新たな取組に挑戦し、町全域への波及を図ります。

取組方針⑤-1 エコ拠点※24・エコタウン※25の形成

関連 エリア	駅前居住 エリア	生活利便施設 集積エリア	にぎわい創出 エリア	緑豊かな 住宅地エリア	武豊中央公園 (北側)	公共機能集積 エリア (武豊中央公園南側)	にぎわい ストリート軸
-----------	-------------	-----------------	---------------	----------------	----------------	-----------------------------	----------------

- ①. 対象区域では、町全体でのカーボンニュートラル※23のまちづくりをリードする先導的エリアとしてのエコ拠点※24の形成に向けて、公共施設の新設にあわせ、クリーンエネルギーによる発電、緑化促進等を図ります。
- ②. 武豊中央公園北側一帯の新たな住宅地形成の場合には、公園緑地の整備に加え、既存樹木の保全や風の道※30等に配慮した開発等により、緑豊かで環境に配慮した住宅の形成を促進します。
- ③. 住宅が多く立地するエリアでは、植栽等の依存ストック（今ある資源）を活かしたまちなみの形成を図るとともに、緑化や景観に関するルールづくり等を進めます。

図表 70 緑豊かで環境に配慮した住宅地の整備イメージ



用語解説

※23 カーボンニュートラル：49 頁参照

※24 エコ拠点：58 頁参照

※25 エコタウン：58 頁参照

※30 風の道：風の通り道のことで、風が抜けやすい形状の道路や緑地等の空間を確保するにより、都市内の風を適当な温度と強さに保とうとするものです。

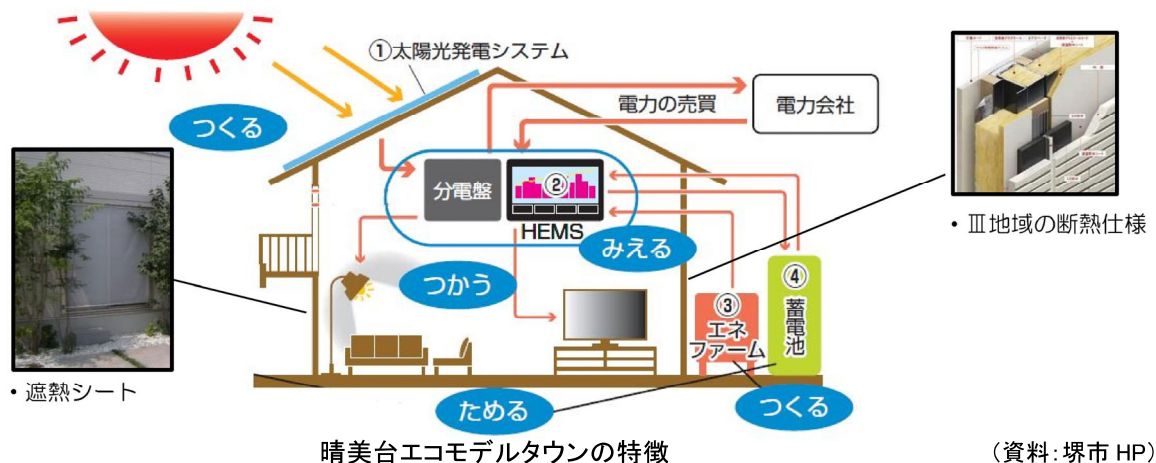
■省エネ・創エネ^{※31}をまちづくりの柱とした事例

『スマ・エコタウン晴美台』大阪府堺市

小学校跡地を活用し、再生可能エネルギーの利用拡大とともに、高効率な省エネ機器等を装備したネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）^{※32}の早期実現と普及を目的に取り組んでいる事業（晴美台エコモデルタウン（大阪府堺市））。



晴美台エコモデルタウンの外観



取組方針⑤-2 環境にやさしい移動手段の導入

関連 エリア	駅前居住 エリア	生活利便施設 集積エリア	にぎわい創出 エリア	緑豊かな 住宅地エリア	武豊中央公園 (北側)	公共機能集積 エリア (武豊中央公園南側)	にぎわい ストリート軸
-----------	-------------	-----------------	---------------	----------------	----------------	-----------------------------	----------------

- ① 傾斜地のある地形のため、移動手段が自家用車に依存しがちであることから、コミュニティバスのルート再編等による公共交通の利用促進に加え、環境に優しい小型モビリティや燃料電池車両等の導入を進めます。（取組方針③-3-a 共通）

全エリア
共通

用語解説

※31 創エネ：創エネルギーの略で、自らが意識的にエネルギーを創り出そうという考え方です。

※32 ネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）

：外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅のことです。

まちづくりの目標③ 持続可能な未来に向けて武豊を先導する新しいチャレンジをしていくまち

戦略⑥ 災害に強いまちづくり

- 対象区域の住民のみならず全町民が、今後も安全で安心して住み続けられるように、防災対策の強化・充実を図ります。

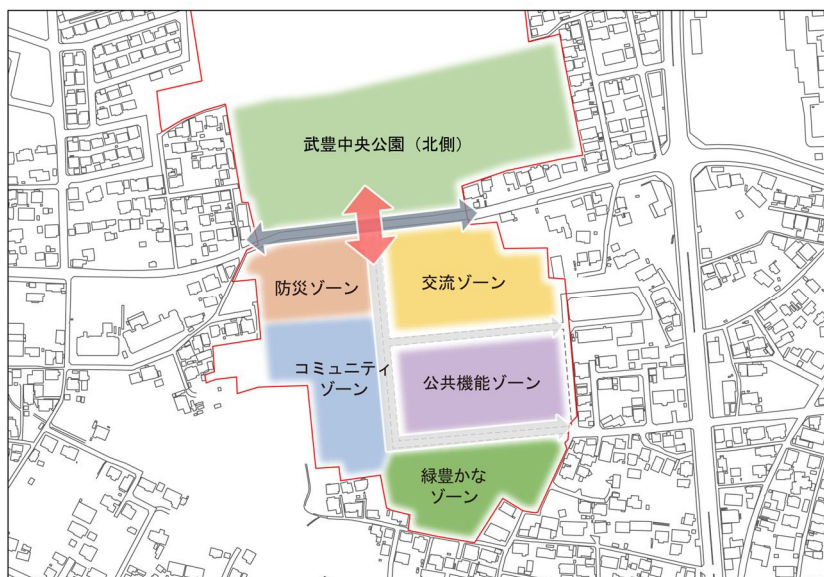
取組方針⑥-1 防災拠点の形成

関連 エリア	駅前居住 エリア	生活利便施設 集積エリア	にぎわい創出 エリア	緑豊かな 住宅地エリア	武豊中央公園 (北側)	公共機能集積 エリア (武豊中央公園南側)	にぎわい ストリート軸
-----------	-------------	-----------------	---------------	----------------	----------------	-----------------------------	----------------

- ①. 公共交流拠点※2では、防災機能を有する武豊中央公園や消防署と一体となって住民の防災安全性を高める施設（備蓄倉庫等）の設置を進めます。

武豊中央公園
(北側)公共機能集積
エリア

図表 71 公共交流拠点※2ゾーンのイメージ



取組方針⑥-2 避難場所・避難経路の確保

関連 エリア	駅前居住 エリア	生活利便施設 集積エリア	にぎわい創出 エリア	緑豊かな 住宅地エリア	武豊中央公園 (北側)	公共機能集積 エリア (武豊中央公園南側)	にぎわい ストリート軸
-----------	-------------	-----------------	---------------	----------------	----------------	-----------------------------	----------------

- ①. 点在する空き地等を活用し、身近な避難場所としてのスペースの確保や地域住民と協力した適切な維持管理を図るとともに、散歩道づくりにあわせ、発災時に高齢者や障がい者が円滑に避難できるよう避難経路の確保・バリアフリー化等を進めます。

全エリア
共通

用語解説

※2 公共交流拠点：1 頁参照